

## 気候崩壊阻止可能問題<基礎確認事項>.

2019/7/25

現国内世界では強度の気候災害頻発、誰も気候悪化を認知、毎年の国連気候変動政治会議 COP(IPCC 科学者諮問機関)、だが冷却阻害元凶 CO2 濃度は上昇一途、その驚愕裏真相！

I : 過去, 気候科学者 (IPCC) は政治家との密室会合で**救済不可能の診断書<北極絶望>**提出、この事は**世界大衆に沈黙を秘密決議**、以後の例年の COP は秘密隠蔽偽善会合に、だから現状世界資本主義体制の保守が秘密裏に世界施工された結果が冒頭の現状！

II : **北極絶望**<北極海低埋蔵凍結メタン温暖化融解大規湧出で**地球火炎地獄で絶滅<sup>(1)</sup>!**>。現状の北極氷層減少→太陽光海面入射増大で海温上昇→更なる氷層減少→..**<正帰還化>**。この悪循環はもはや**自然停止不可能**,,, , 然るに人為**北極冷却工学**の救済可能性を無視！

III : **北極冷却工学**<雲製造機<sup>(2)</sup><CMM>での太陽熱遮断の地球冷却工学>

1991 ピナツボ火山大噴火煤塵が地球包括で太陽光遮断に作用、1.5 年短期だが 0.6℃降下に作用との事、研究者指摘では 300 台配備で 1.5℃降下できるという。長期使用は農業破壊の副作用、だが今後の気候凶暴化即応沈静化技術として不可欠、英国 AMEG 集団がこれでの北極冷却提唱、政治家は請願を無視、科学界からの主要支持もない？<→最終決戦作戦>。

IV : **北極冷却工学 2**<北極海 Nares 海峡(幅 20km, 深度 150~300m)海流遮断法>。

北極温暖化熱借金 =  $+4W/m^2$ 、N 海峡遮断総合効果 =  $-10W/m^2$ 、問題点は工法？！

香港マカオ橋 = 50Km, 海底掘削台支柱 = 深度 303m、**厳寒冬季北極工事事例**等も。世界の海洋工事業者等は過酷環境で巨大重量物の高精度決着技術を持つ。地球命運が賭かる。

<http://777true.net/Blocking-Nares-Strait-Gate-to-Intercept-Methane-Catastrophe.pdf>

総論要約<気候破滅回避技術は**全体統合視野**で議論しないと無意味>。

**突発破滅北極破綻**を第一に回避できれば手遅れなし、残りは緩慢破滅だが**要緊急!!**

G : **全球緊急気候戦争体制の樹立論理**

気候崩壊究極は地上生命大破滅、過去如何なる戦争も絶滅だけは無、成らば**戦時体制必然**, **地球軍総司令部** = 計画施工管理と苦情処理体制。 **全員協力が無いと作戦勝利なし**。

A : 北極破滅阻止の地球工学作戦<上記 III、IV>

B : 全球冷却工学作戦(**CO2=400ppm→350ppm** で気候安定化)。

(a) 気候凶暴化の緊急臨時対策 = 雲製造機での短期冷却工学作戦

(b) **緊急 80%新エネルギー移行**<風力, 太陽光, 水素エネ, ... の既存技術, 改良余地も>

戦時世界体制下作戦命令として生産施工すれば緊急遷移が技術資金双方で大局可能<sup>(3)</sup>

C ; 戦時体制の経済計算<産業再編成 = 作戦物資生産と雇用-生活政策>

国民生活保障がないと上記 A B 作戦への協力が得られない。